●緊急災害支援の取り組み

ボランティア・NPO活動センターでは、設立以来、2004年度、2007年度、2008年度と緊急災害に対しても学生スタッフが中心となって、多くの本学学生と共にさまざまな支援活動を行ってきました。

今年度末の３月、日本史上最大規模となる東北地方太平洋沖地震が発生し、東日本の広範囲に渡って甚大な被害をもたらしたことを受け、本学でも、この国難に対し大学として何ができるのかということが協議されています。学長からも以下のメッセージが発表され、本学のホームページ上に掲載されています。

2011年３月14日

このたびの東北地方太平洋沖地震によって被災された皆さまに対して、衷心よりお見舞い申しあげます。被災の皆さまには、大変困難な状況におられることと拝察いたし、心痛む思いであります。

龍谷大学は、在学生・今春入学予定者の安否確認に全力を挙げており、また、被災学生に対する学費減免や学生・教職員における義援金の募集などについても、実施を決定いたしました。

被災地におかれましては、行方不明の方々が一刻も早く救出されることを、心より念じ申しあげますとともに、被災地救援に全力を尽くされている関係者に深く感謝申しあげます。

合掌

龍谷大学学長　若原 道昭

企画名　タイトル	東北地方太平洋沖地震復興支援　募金活動
報告者名	ヒギンズ　尚美（瀬田キャンパス　コーディネーター）
実施日・場所	深草キャンパス：2011年３月17日（木）・19日（土）21日（月）・24日（木）・25日（金） 瀬田キャンパス：2011年３月18日（金）・24日（木）・25日（金） 大宮キャンパス：2011年３月24日（木） 京都市伏見区内：2011年３月22日（火） 大津市中央地区内：2011年３月19日（土）
実施主体	龍谷大学ボランティア・NPO活動センター
対　　象	学　内：本学学生およびその保護者、ならびに教職員 学　外：地域住民の方

■経緯・目的

2011年３月11日14時46分、三陸沖から茨城県沖にかけての太平洋沿岸で、マグニチュード9.0の非常に大きな地震が発生しました。場所によっては数十メートルを超える大津波が観測され、多くの海辺の町が壊滅的被害を受けています。被災地の状況は時間が経つにつれ明らかになり、３月31日午後９時時点の警察庁まとめによると、死者・行方不明者が２万７千人以上、

17都道府県の約2,000ヵ所で17万人以上が避難所生活を余儀なくされています。

このような未曾有の大災害を受けて、本学でも震災直後から大学として支援にあたることが協議されました。その結果、被災地の混乱状況などを考慮して、当面はボランティアとして現地に向かうことは控えるという方針をたて、その時点での最も有効な支援として義捐金を募り現地の復興に役立てることに決定しました。

教職員に対しては本学総務課を通じて募金活動を展開し、学生に対しては学友会やボランティア・NPO活動センターの学生スタッフなどが学内行事等で募金活動を行います。また、学外においても、センター事業と深い関わりのある地域で、学生スタッフが一般住民の方々に募金への協力を呼びかけることになりました。

■概　　要

	実施日	実施場所	募金活動時間	活動者
卒業式・学位授与式	3月17日（木）	深草キャンパス 体育館前、正門前	9：30～10：30 12：30～13：30	学友会学生および該当キャンパスのセンター学生スタッフ
	3月18日（金）	瀬田キャンパス 体育館前、智光館前	9：00～10：00 11：00～12：00 13：00～14：00	
	3月19日（土）	深草キャンパス正門前	9：30～10：30	深草キャンパスのセンター学生スタッフ
街頭募金	3月19日（土）	大津百町市（天孫神社） 大津ナカマチ商店街（丸屋町・菱屋町・長等町）	10：30～12：00 13：00～16：00	大津エンパワねっと（社会学部）学生および瀬田キャンパスのセンター学生スタッフ
	3月22日（火）	深草商店街 京都市伏見区深草総合庁舎	10：30～12：00	深草キャンパスのセンター学生スタッフ
オープンキャンパス	3月21日（月）	深草キャンパス	9：00～17：00	入試部学生スタッフ『アドミッション☆サポーター』
成績表配布・履修説明会	3月24日（木）	大宮キャンパス スクールバス停留所付近	9：00～10：00	深草キャンパスのセンター学生スタッフ
		深草キャンパス顕真館前	12：00～13：00	
		深草キャンパス1号館	履修登録会前後	短期大学部学生
		瀬田キャンパス智光館前	12：30～13：30	瀬田キャンパスのセンター学生スタッフ
	3月25日（金）	深草キャンパス顕真館前	12：00～13：00	深草キャンパスのセンター学生スタッフ
		瀬田キャンパス智光館前	12：00～13：00	瀬田キャンパスのセンター学生スタッフ

○義捐金について

使途は被災者生活再建へ全額充てることとします。

- 送付先：社会福祉法人　中央共同募金会
- 送付名：龍谷大学学生・教職員・関係者

■参加者の声・得られた効果など

【3月31日現在の募金総額】

949,855円（総務課担当分は除く）

【募金いただいた方々の声】

- 被災地の様子を映像で見てとてもショックを受けた。少しでも力になりたいと思っている。
- 災害直後はこういった活動をするところは多いけど、長期的な支援も必要だと思うので、これからも何らかの形で続けていって欲しい

です。

【募金を呼びかけた学生の声】

- 募金活動ではたくさんの方々が協力してくださり、みなさんが被災者を救いたいという気持ちをもっておられるということに、とても感動しました。
- 日頃から大きな声を出す機会もなく、初めは声かけに躊躇する場面もありましたが、何度もやるうちに慣れました。それに加えて、募金してくださる新入生やご家族の方々などの「ご苦労様です」や「頑張ってください」の声に勇気づけられました。
- 募金いただいた方から「ありがとうございます」と声をかけられ、その人たちがしたいと思っていることを自分たちがさせてもらっているのかなと感じました。

■コーディネーター所感

地震発生後、刻一刻と被害状況が報道される中、大学の方針が発表される前にも「自分たち

も何かしたい」と早々にセンターを訪れる学生がいたり、センターの学生スタッフも「学内で募金活動ができないか」と相談してくるなど、誰もがこの大災害に対して心を痛め、できる範囲で力になりたいとの想いを持っていることが感じられました。

今回の募金活動では、学友会の学生やセンターの学生スタッフ、その他にも入試部や短期大学部の学生たちによる呼びかけで、多くの在学生や保護者の方、教職員、地域住民の方々から善意の義捐金が集まりました。中には、ゼミ単位で募金を集めるといった協力もありました。

４月にも入学式などで学内での募金活動を行いますが、地震の規模や被害状況からも長期的な支援が必要であるのは明らかなため、本学および当センターが今後どのように復興支援に関わっていくのか、学内外の関係機関やセンター長をはじめとする教職員、そして学生たちと一緒に考えていきたいと思います。